

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026年04月20日

事業所名：放課後等デイサービス HIYOKO REHABたけくま(放課後等デイサービス)

対象人数（保護者）32人 回答者数 21人 回収 65.6%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2		2	・施設が広くなったので、子供がクールダウンできる部屋などの確保が出来たことがとてもうれしかったです。	・スペースを有効活用して、これからもお子様の安心と安全をお守りして療育を展開して参ります。	
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	20			1	・スタッフが短期間でコロコロ変わるのでは名札をつけてほしい。	・送迎時は付けておりますが、施設内では名札をつけていないため、来客対応時に名札をつけての対応を徹底いたします。	
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1		5	・今度親子会があるため、新しくなった事業所内を見学させていただくのを楽しみにしています。 ・活動ごとに部屋が分かれていると子供たちも分かりやすく、気持ちの切り替えがしやすいと思うのでとても良いと感じました。	・お子様の安心と環境配慮を徹底しております。保護者様がいつでも見学できる対応もしております。親子会も定期的に開催いたしますのでよろしくお願いたします。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17			4	・以前より広くなったので、体の大きな子も窮屈そうではなくなりました。	・今後さらに心地よく過ごせる環境作りを行って参ります。	
適切な 支援の 提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19			2	・先生方と常に情報交換が出来ることで、その時の我が子に合わせた支援をして頂いているので、とても安心してしています。	・専門的な支援を行っていることをさらに周知し、お子様の成長をお支えできるように精進して参ります。	
	⑥ 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21				・色々なプログラムで子供はあきることではないです。	・職員一同、楽しさの中に学びを提供できるように、楽しみながら療育が体験できることを考えて活動計画を立てております。	
	⑦ こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	21						
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20				1		
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21						
	⑩ 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20					・活動プログラムが豊富ですごくと思います。	・季節に応じた活動や、今できている事へのステップアップとして、バリエーションを加えてプログラムを構成しています。さらに、個別支援計画の領域をカバーできる内容で提供して「できる」ことが実感できる内容を提供しております。
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4	3	4	・お出かけする時に他のお子さんとの交流できているのかな？	・地域でお散歩や公園に行く際に挨拶を行ったり、公共の場でも遊具で遊ぶ際には譲り合って遊ぶ様子も見られています。今後様々な活動を計画して参ります。	
	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	2					
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1	1				
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	2	1	・少ないのでもう少しあってほしいかなと思います。	・今後さらに増やしていけるように計画して参ります。	
保護者への 説明等	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1		1	・HUG連絡帳や電話、申し送りの際に情報共有ができていますのでとても満足しています。 ・とても丁寧に教えてくださり安心して通わせていただいています。 ・いつも活動の様子を丁寧に話しています。	・申し送りには丁寧に伝えていくように努力しております。その他、情報共有を受ける際は、保護者様やお子様の様子を聞き取れるように職員一同努力して参ります。	
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21						
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21					・その日その日の我が子の状態に合わせて支援をしている事が親としては何よりありがたいです。	・基本姿勢として大事に取り組んでおります。
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょう	12	3	1	5	・一緒に参加でき喜んでました。 ・保護者会等には参加していません。また、兄弟がいまないので分からないに回答しました。	・今度も親子会を開催してお子様と一緒に楽しんでもらえるような活動を計画していきます。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	だい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。							
	⑱ こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1			・すぐ対応してくれるのでありがたいです。	・「相談してよかった」「申し入れして解決した」などのお言葉がいただけるようにさらに努力して参ります。	
	⑲ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21				・HUG連絡帳、電話、帰りの送迎時の申し送りなどで常に情報が共有できていると思います。	・今後も情報共有に努めて参ります。	
	⑳ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	2	1	1			
	㉑ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21						
非常時等の対応	㉒ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			2	・今度親子会で説明いただけるようでしたので「はい」にしました。	・親子会で説明させていただきました。玄関にもマニュアルを設置しております。都度不明な場合は対応させていただきますので教えてください。	
	㉓ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			2	・活動の中で定期的に避難訓練が行われているので、親としては大変ありがたいです。 ・事業所での参加により、学校での避難訓練等で経験が生きているようです。	・月に1回の訓練を行っております。様々な災害を想定して、実際の動きに合った内容と、役割分担も丁寧に行い、お子様の安全を守ってまいります。	
	㉔ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19				2		
	㉕ 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	21						
満足度	㉖ こどもは安心感をもって通所していますか。	21				・週2回利用させて頂いておりますが、毎週楽しみ通っています。	・安心して通える事業所作りを行って参ります。	
	㉗ こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	1			・移転をきっかけに活動の幅が広がり、好きな活動ができたようでとても通所が楽しみにしているようです。先生の日々の手厚いご支援にとても感謝しています。 ・特にデジタルが楽しいようです。 ・とても楽しんでます。	・楽しい気持ちでできることが増えるように努力いたします。	
	㉘ 事業所の支援に満足していますか。	21				・今後ともご指導、ご支援のほどよろしく願っています。	・「来て良かった」と言ってもらえるように効果のある内容で活動を提供していきます。	

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。